

第22回みやぎ医療機器創生塾（最終回）

『医療機器参入について考える』

～創生塾最終回にあたり～

「みやぎ医療機器創生塾」は、県内の企業経営者・技術者の皆様に、医療機器製造の理解を深めていただき、製品化、商品化での一助にさせていただくことを目的としたプログラムです。地域の特徴を生かした医療機器パーツクラスターの構築を進めていきたいと考えております。これまで、県北・県南・仙台市内で二十数回実施し延べ970名にご参加頂きました。

最終回の今回はこれまで御講演いただいた内容のなかから要望が多いテーマを選びました。さらに宮城県企業の方に医療機器参入についてご苦労をお話頂きます。最後に全員によるパネルディスカッションを行い皆様と一緒に医療機器参入について考えます。

講演1は「医療機器の構成を知ろう」をテーマに関して、近藤祐司先生から超音波診断装置について基本的な原理や構成について分かりやすく解説していただくとともに、宮城県企業と連携した5年間についてお話しいただきます。本田光正先生からは、超音波診断装置のソフトウェア開発に参入したご苦労をお話しいただきます。

講演2は「企業から見た簡単薬事」をテーマに関して、上村英一先生から薬事法について分かりやすく解説していただくとともに宮城県企業への期待をお話しいただきます。佐藤政博先生からは、自社のコア技術を活用しヘルスケア製品・医療機器分野へ参入し、また管理医療機器の薬事認証について、上村先生への相談や東北大学クリニカル・スキルスラボを活用した経験などをお話しいただきます。

講演3は今年の8月行った講演の最新情報として「医療機器メーカーの考え方を知ろう～新規取引企業に求めるもの～」をテーマに関して、テルモ(株)の田中俊英先生から医療機器メーカーの立場から、新規取引企業（部材のみならず製造ラインの治具・金型・自動機等の部品や機器開発企業を含む）に求める条件や技術について、さらに部材供給ガイドや（一社）日本医療機器テクノロジー協会（MTJAPAN）医療機器技術マッチングサイトの活用方法及び登録のポイントについて、分かりやすく御紹介いただきます。

御興味をお持ちの方はぜひ御参加ください。

地域イノベーション戦略支援プログラム 知と医療機器創生宮城県エリア
プロジェクトディレクター 鈴木 文夫
東北大学メディカルサイエンス実用化推進委員会教育部会長
医工学研究科長 出江 紳一

1. 日時：平成29年3月10日(金) 16時～19時

2. 場所：仙都会館 5階 A会議室

宮城県仙台市青葉区中央2-2-10

(JR 仙台駅西口徒歩5分・JR 仙石線あおば通駅 徒歩1分・

地下鉄南北線広瀬通駅 徒歩3分)

アクセス <http://www.sentokaikan.co.jp/access/>

前回と場所が異なりますのでご確認願います。

3. 次第

16:00 講演1 近藤 祐司 特任教授 東北大学大学院工学研究科

「医療機器の構成を知ろう 超音波診断装置編 と 宮城県企業との5年間」

本田 光正 先生 東社シーテック株式会社 代表取締役

「超音波診断装置ソフト開発への参入について」

16:40 講演2 上村 英一 先生 日本の技術をいのちのために委員会 レギュラトリアフェア

「企業から見た簡単薬事と宮城県企業へ期待すること」

佐藤 政博 先生 株式会社倉元製作所 新事業部 部長

「異業種からの医療分野への参入について」

17:20 講演3 田中俊英 先生 一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会(MTJAPAN)
産業戦略委員会 委員長

「医療機器メーカーの考え方を知ろう ～新規取引企業に求めるもの～」

18:00 パネルディスカッション

「宮城県企業の異業種からの参入について」

モデレーター 鈴木 文夫 プロジェクトディレクター

パネラー 近藤 祐司 特任教授

本田 光正 先生

上村 英一 先生

佐藤 政博 先生

田中 俊英 先生

4. 参加費：無料

5. 定員：60名

6. 参加申し込み方法：

知と医療機器創生宮城県エリアホームページ

(<http://sendai-cyber.icr-eq.co.jp/info/event.html>)

の参加申込フォームより3月6日(月)までにお申し込みください。

なお、講演終了後に講師を交えた交流会(会費制)を行います。多数のご参加をお待ちしております。

講師の紹介：

近藤 祐司（こんどう ゆうじ）氏 略歴

現職：東北大学大学院工学研究科特任教授

昭和54年アロカ株式会社（現日立アロカメディカル株式会社）に入社、超音波ドプラ技術の開発を行う。世界初のカラードプラ装置の開発、医療画像通信システムの開発等を経て平成19年に富士フィルム株式会社に入社。同社の超音波事業参入に取り組む。平成24年から地域イノベーション戦略支援プログラムの招へい研究者として高精度診断装置の研究開発に従事。

本田 光正（ほんだ みつまさ）氏 略歴

昭和57年株式会社エーエスエルに入社、主に交通管制システムなどのソフトウェア開発に携わり、平成6年に取締役就任後、仙台支店の取締役支店長を経て、平成15年に独立し、カーナビ・カーオーディオのソフトウェア開発を行う東社シーテック株式会社を設立する。
今では半導体製造装置や車載などにも開発分野を広げるとともに、東北大学の青木孝文教授から最先端画像センシングをご教授いただきながら、自社独自の応用製品の開発を行う。

上村 英一（うえむら えいいち）氏 略歴

大阪大学大学院薬学研究科応用薬学専攻を修了後、金沢医科大学老年病内科に研究助手・臨床薬剤師として入局し、動脈硬化（高脂血症）や脳血管障害等の成人病疾患の臨床と研究に従事。その後、日本商事（現、アルフレッサファーマ（株））にて、医療機器開発技術センター長等を歴任し、体外診断薬・医薬品・医療機器の研究・開発・薬事業務等に携わる。
引き続き、滋賀県の山科精器（株）にて、滋賀医科大学・立命館大学・大阪大学との産学官連携事業に関わり、ドクターニーズ製品の開発や薬事申請に携わる。現在、日本の技術をいのちのために委員会 レギュラトリアフェアとして活躍。

佐藤 政博（さとう まさひろ）氏 略歴

昭和59年株式会社倉元製作所に入社、品質管理部に所属し社内・外の品質保証業務に従事し、品質管理部 課長、新事業部 部長。現在に至る。

田中 俊英（たなか としひで）氏 略歴

テルモ株式会社 レギュラトリーアフェアーズ 部長代理
一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会（MTJAPAN） 産業戦略委員会 委員長
一般社団法人 日本医療機器産業連合会 産業政策会議 議長